

長野地方裁判所 裁判員等経験者意見交換会 開催概要（令和5年1月16日開催）

5名の裁判員等経験者にお越しいただき、裁判員裁判を担当する裁判官、検察官、弁護士と意見交換をしていただきました。

裁判員制度に参加がしやすくなるために、どのような視点が必要だとお考えですか。

働き方に対する考え方を改めて、仕事を空けてもいいという考えにならないとだめなのかなと思う。

痛々しい写真を見たり、自分達の判断によって被告人の運命を変えてしまうことになるのが重荷だと感じるのではないかな。

インターネットの記事を見て、心無いコメントがあると、やってよかったのかなと不安に思ったところはあった。そういうことがなくなれば参加する人が増えるのではないかなと思う。

新たに裁判員の候補者となった18歳、19歳の高校生や大学生へのメッセージをお願いします。

年齢は重要ではなく、若いからと不安になることはないと思う。

自分の意見も人の意見も間違っていないという、小学校の道徳で習うようなことを間近で見られるし、いい経験ができると思うので、ぜひ怖がらず若い人にも参加してもらいたい。

裁判の経験を通して、自分が思ったことをちゃんとと言える人になってもらいたい。また、社会の秩序がどう守られているのかがわかると思う。

いただいたご意見を参考にさせていただき、今後も参加をしていただきやすい裁判員裁判の運営に取り組んでまいります。ご参加くださり、ありがとうございました。



裁判員制度広報キャラクター さいにゃん